



2006年2月期  
中間事業報告書

株  
主  
の  
皆  
様  
へ

## STAR'S REPORT



スター精密株式会社

# トップメッセージ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに2006年2月期中間期（2005年3月1日から2005年8月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期は、引き続き欧米を中心に旺盛な設備需要に支えられた工作機械事業が業績を牽引し、前年同期に対し増収増益を達成することができました。平素からのご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

なお、中間配当金につきましては、1株につき前期末利益配当金に比べ1円増配の9円とさせていただきます。

当社グループでは、引き続き、株主の皆様のご期待にお応えすべく業績の一層の向上を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2005年11月



取締役社長

鈴木俊弘

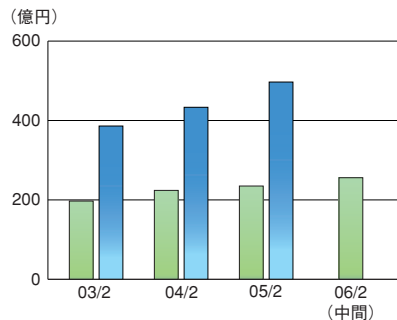
Contents	頁
トップメッセージ	1
連結業績ハイライト	2
特集 次世代サーマルプリンタ	3
製品紹介	4
営業の概況	5
事業別の概況	7
連結財務諸表（要約）	9
単体財務諸表（要約）	12
会社の概況	13
株式の状況	14

# 連結業績ハイライト

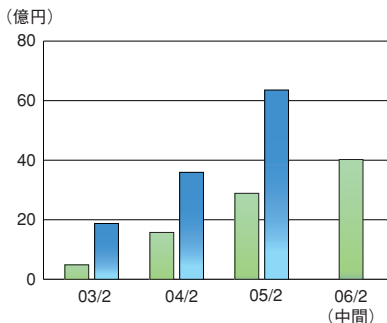
	2003年2月期		2004年2月期		2005年2月期		2006年2月期
	中間	通期	中間	通期	中間	通期	中間
<b>売上高</b>							
特機事業 (百万円)	7,868	13,851	9,708	14,950	6,150	13,010	5,878
コンポーネント事業 (百万円)	3,917	7,538	3,350	7,340	4,382	8,911	5,223
工作機械事業 (百万円)	6,167	13,627	7,499	17,205	11,068	24,034	12,350
精密部品事業 (百万円)	1,760	3,594	1,838	3,835	1,897	3,733	2,131
合計 (百万円)	19,713	38,611	22,396	43,331	23,499	49,689	25,584
<b>営業利益</b>							
特機事業 (百万円)	1,328	2,346	1,441	2,130	511	1,497	515
コンポーネント事業 (百万円)	38	△3	△258	△421	255	391	683
工作機械事業 (百万円)	492	1,486	1,027	3,020	2,678	5,733	3,221
精密部品事業 (百万円)	286	590	304	725	325	638	494
消去又は全社 (百万円)	△1,074	△2,012	△992	△1,905	△978	△1,917	△1,087
合計 (百万円)	1,071	2,407	1,521	3,549	2,791	6,343	3,828
経常利益 (百万円)	485	1,874	1,574	3,593	2,888	6,357	4,023
中間(当期)純利益(△純損失) (百万円)	△302	434	970	2,425	1,624	3,775	2,254
1株当たり中間(当期)純利益(△純損失) (円)	△5.37	7.77	17.58	44.12	30.48	70.13	42.30
総資産 (百万円)	62,034	62,403	61,352	57,898	58,068	60,012	61,227
株主資本 (百万円)	44,745	45,023	45,345	44,613	46,169	47,753	50,311
株主資本比率 (%)	72.1	72.2	73.9	77.1	79.5	79.6	82.2
1株当たり株主資本 (円)	796.82	813.45	834.45	836.13	866.10	895.68	942.80
株主資本当期純利益率(ROE) (%)		0.9		5.4		8.2	
総資本経常利益率(ROA) (%)		2.9		6.0		10.8	

(注)従来の電子機器事業を当中間期より特機事業とコンポーネント事業に区分けておりますので、2005年2月期以前は社内管理上の数値等を参考として記載しております。

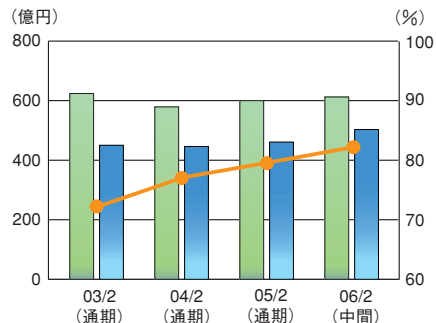
売上高 (■ 中間 ■ 通期)



経常利益 (■ 中間 ■ 通期)



総資産 (■)  
株主資本 (■)  
株主資本比率 (—)



### 「TSP100 futurePRNT」世界同時発売

当社は国内を含め全世界のPOS（Point of Sales）市場をターゲットとした、多機能サーマルプリンタ「TSP100 futurePRNT」を開発し、本年9月より全世界一斉に販売を開始しました。

本製品は、近年のPOS市場におけるUSB インターフェイスの普及と今後の拡大基調を背景に、当社が培ってきた最先端のプリンタテクノロジーを活かした次世代サーマルプリンタです。

「TSP100 futurePRNT」は、印刷データの制御処理方法の見直しによりデータを受けてから出力までの処理を飛躍的に向上させたため、複雑な印刷データであっても常に高速印字が可能です。また多機能ユーティリティを用意しており、印刷データの180度反転印字や、レシート上に

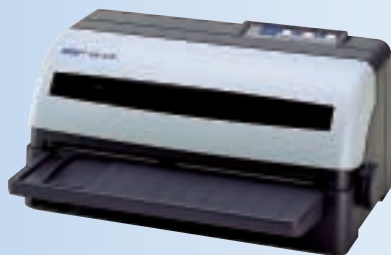


販促メッセージや広告画像を追加加工できる機能等も備え、様々なビジネスシーンに沿った印刷フォーマットの提供を可能としました。さらに従来モデルよりも堅牢、かつ省スペース化を追求するとともに、縦置きや壁掛け等ユーザーが自由に設置レイアウトできるよう配慮しています。今後は、本製品が兼ね備える高機能・多機能性を総称し「future

PRNT」をペットネームとし訴求していきます。

当社は、この「TSP100 futurePRNT」を市場投入することで、POS市場をはじめとした様々な業種においてさらなるシェアの拡大を目指し、全世界市場で年間15万台の販売を見込んでいます。

「TSP100 futurePRNT」専用ウェブサイト  
<http://www.futureprnt.com/>



## NX-410

NX-410は、中国における小売・飲食・サービス業などの企業に向けたインボイス発行用のプリンタです。

紙厚調整を行うことなく4枚までの複写印字が可能です。コンパクトな設計で省スペース化を実現したうえに、耐久性にも優れるなど中国のビジネスシーンで使用されるプリンタとして必要十分な機能を備えています。



## TCP400

TCP400は、厚型ロイコライトカードに対応したカードリーダーライターです。本製品はカード全面での印字が可能で、カード面に様々な情報を盛り込むことで表現力を大幅に拡大することができます。

特に海外においては厚型カードが好まれており、厚型で視認性の高いロイコライトカードに対応できる本製品は、海外市場における新たな需要喚起と開拓を目指しています。

※ロイコライトカード

白地に黒色、青色等の文字で書き換え印字が可能なカード。



## SR-10J

SR-10Jは、生産性が高く、複合加工能力に優れ好評を得ているSRシリーズの拡充を図るために開発された小径加工に対応するマシンです。

現在販売中のSRシリーズでは、最大加工径がSR-32Jで32mm、SR-20R IIでは20mmとなっていますが、本製品は10mmとしました。

自動車・医療・情報通信機器部品など各種製品の小型化に伴い要求が高まっている小径部品加工の市場ニーズに応える製品です。

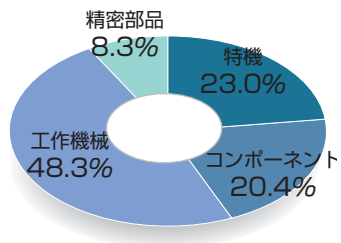
# 営業の概況

## 当中間期の事業環境

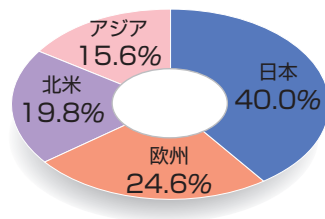
当中間期における経済情勢は、米国では、設備需要・個人消費ともに堅調に推移し、引き続き景気は拡大基調を維持しました。欧州では、内需の不振を外需が補いながら、景気はほぼ横這いの状態にありました。アジア地域では、一部で世界的なIT・デジタル関連分野の在庫調整の影響があったものの、中国経済は依然として高成長を継続しました。一方、わが国経済は、好調な企業業績を背景に、設備投資・個人消費とも総じて堅調に推移しました。

当社グループの主要関連市場におきましては、工作機械市場は、欧米を中心に依然として旺盛な需要が続きました。プリンタ市場では、POS向け小型プリンタ需要のサーマル式への移行がさらに顕著となりました。小型音響部品の主要仕向け先である携帯電話市場は、価格競争が激しさを増すなか、新興市場向けに低価格機種が伸びるなど販売台数は前年を上回るペースで推移しました。また、精密部品関連では、腕時計用ムーブメント市場がやや不安定な状態を抜け切れなかったのに対し、小型ハードディスク駆動装置（HDD）市場は堅調に推移しました。

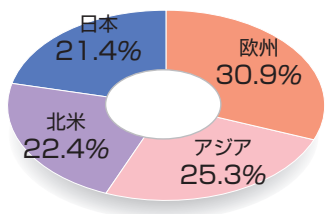
■ 事業別売上高構成比 (%)



■ 所在地別売上高構成比 (%)



■ 海外売上高構成比 (%)



## 営業の概況および成果

このような状況のなか、欧米市場の旺盛な設備需要に支えられて高水準の受注を維持した工作機械事業では、前年同期の売上高をさらに上回ることができました。また、コンポーネント事業では、レシーバーの売上が前年同期の約3倍に達するなど売上高は大きく増加しました。一方、特機事業では、大型プリンタで中国の徴税システム向け需要が低迷するなど、売上高は前年同期に及びませんでした。また、精密部品事業では、小型HDD用部品が大きく伸びたほか、新たに中国子会社を連結対象に加えたことから、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、当中間期の連結売上高は、前年同期比8.9%増の255億8千4百万円となりました。利益につきましては、売上の増加や利益率の改善などにより、営業利益は38億2千8百万円（前年同期比37.1%増）、経常利益は40億2千3百万円（前年同期比39.3%増）、中間純利益は22億5千4百万円（前年同期比38.7%増）と大幅な増益となりました。

## 今後の見通し

今後の当社を取り巻く経営環境につきましては、原油や原材料価格の高騰、為替の動向など依然不透明ではありますが、急激な市場変化のおそれは小さいものと想定しております。

このようななか、工作機械事業においては、堅調な設備需要を背景に積極的に営業活動を継続する一方、菊川工場に完成した新工場棟の本格稼動などにより一層の生産性の向上と客先の納期要求への対応を図ってまいります。

特機事業においては、中国市場の需要動向を注視し販売機会を逃すことのないよう営業活動を続けるとともに、小型プリンタ新製品の市場投入によるシェアの拡大に取り組んでまいります。コンポーネント事業においては、付加価値の高い新製品の開発とさらなる生産性の向上により、市場での競争力の強化と拡販に努めてまいります。また、精密部品事業においては、業務効率と生産効率の追求に全力を挙げてまいります。

以上により、当社グループでは、前連結会計年度を上回る業績を達成すべく一丸となって取り組んでまいります。

## 事業別の概況

# 特機事業

大型プリンタでは、中国市場において、金融機関等への販売を着実に伸ばしたものの、主力の徴税システム向け需要が、増値税および地方税プロジェクトに目立った進捗がなく低迷したため、売上は前年同期を下回りました。

小型プリンタでは、POS市場にとどまらず宝くじ端末・キオスク端末向けの受注獲得やBRICs等の新興国市場の開拓に積極的に取り組みましたが、欧米での大口案件がやや減少したこともあり売上は前年同期並にとどまりました。

以上の結果、当事業の売上高は、58億7千8百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は5億1千5百万円（前年同期比0.9%増）となりました。



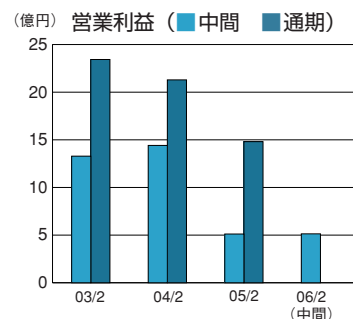
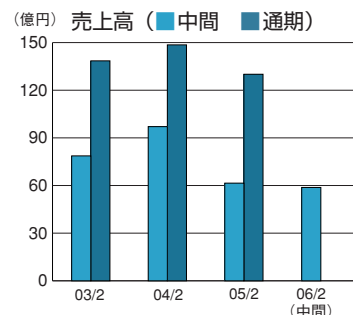
大型プリンタNX-500



小型プリンタTSP700



カードリーダーTCP300



電子ブザーは、携帯電話への搭載率が低下傾向にあるなかで、低価格機種向けの需要が堅調だったほか、携帯型音楽プレーヤーやデジタルカメラ等で実装性に優れたリフロー対応製品の採用が伸びるなど、売上は当初予想を上回りました。

また、レシーバーは、角型レシーバーを中心に携帯電話メーカー向けの売上を大きく伸ばしたほか、マイクロフォン、スピーカーにおいても、携帯電話向けに加えカーナビゲーション端末を含む車載用途への拡販に努めました。

以上の結果、当事業の売上高は、52億2千3百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は6億8千3百万円（前年同期比168.0%増）となりました。



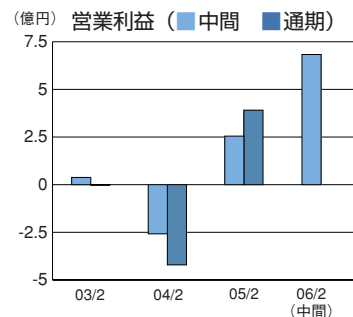
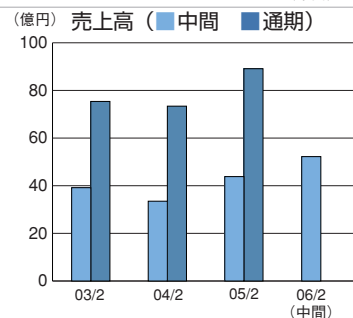
レシーバーRDF-07



マイクロフォンMAB-06



スピーカーSCG-16



# コンポーネント事業



# 工作機械事業

CNC自動旋盤では、国内で需要の力強さにやや衰えが見られたものの、アジアでは総じて前年同期並みの受注水準を維持したほか、欧州では電気・精密機器分野向けが好調のドイツを中心に、また、米国でも医療部品分野向けが依然として好調に推移したため、総受注高は高水準にあった前年同期をさらに上回りました。このような状況のなか、市場ニーズに応える新製品を投入する一方、増産にも鋭意取り組んでまいりました。

その結果、独自のモーションコントロールを搭載したECAS-32T、自動車部品など太径材料の加工に最適な軽複合機の新製品SR-32Jをはじめとして海外を中心に受注・販売とも引き続き好調に推移しました。

以上の結果、当事業の売上高は、123億5千万円（前年同期比11.6%増）となり、営業利益では32億2千1百万円（前年同期比20.3%増）と半期ベースで過去最高となりました。



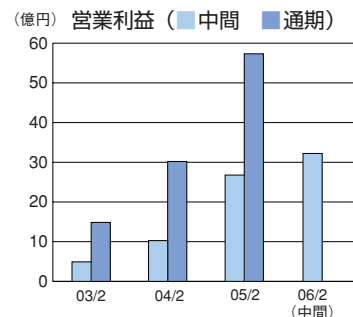
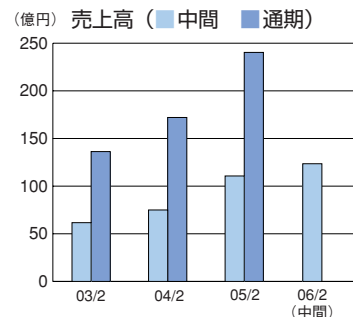
ECAS-32T



SR-32J



SB-16



# 精密部品事業

腕時計部品では、ムーブメント用部品の受注が客先メーカーの在庫調整の影響で低調に推移したほか、価格の低下がさらに進行したため、売上は前年同期を下回りました。

一方、非時計部品では、医療用部品など高付加価値部品の生産体制の強化に取り組むとともに、需要の拡大する小型HDD用部品の営業活動を積極的に展開したのに加え、中国でカーオーディオ向け部品等を製造・販売する子会社の上海星栄精機有限公司を連結対象としたため、前年同期に比べ売上は増加しました。

以上の結果、当事業の売上高は、21億3千1百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益は4億9千4百万円（前年同期比52.3%増）となりました。



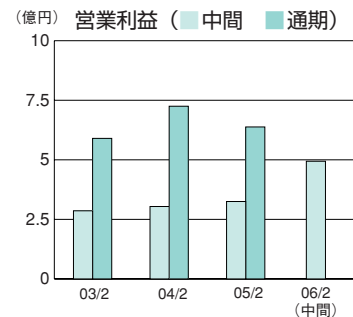
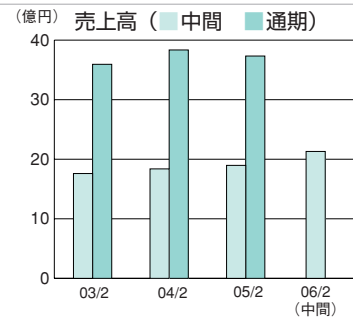
腕時計部品



医療用部品



光コネクタ部品



# 連結財務諸表【要約】

## 連結貸借対照表

単位：千円

科目	当中間期 2006年2月期中間	前期 2005年2月期	前中間期 2005年2月期中間
<b>資産の部</b>			
流動資産	40,166,376	40,170,010	36,850,695
現金及び預金	11,643,958	13,910,119	11,888,401
受取手形及び売掛金	13,923,763	12,619,517	11,642,064
有価証券	59,917	164,905	162,040
たな卸資産	11,330,749	10,668,276	10,882,021
その他の流動資産	3,207,986	2,807,191	2,276,167
固定資産	21,061,238	19,842,949	21,217,501
有形固定資産	15,933,327	14,698,344	15,484,516
無形固定資産	1,823,384	1,857,286	2,027,337
投資その他の資産	3,304,526	3,287,319	3,705,647
資産合計	61,227,615	60,012,960	58,068,197
<b>負債の部</b>			
流動負債	10,195,339	11,824,556	10,581,200
支払手形及び買掛金	4,790,173	5,660,262	6,456,639
短期借入金	—	—	58,405
その他の流動負債	5,405,165	6,164,293	4,066,155
固定負債	430,622	349,450	1,227,475
長期借入金	—	—	1,000,000
役員退職引当金	231,866	212,317	197,361
退職給付引当金	19,546	11,419	6,260
その他の固定負債	179,209	125,714	23,854
負債合計	10,625,962	12,174,007	11,808,676
<b>少数株主持分</b>			
少数株主持分	289,832	85,021	90,400
<b>資本の部</b>			
資本金	12,721,939	12,721,939	12,721,939
資本剰余金	13,885,686	13,876,949	13,876,662
利益剰余金	25,616,069	23,674,806	23,307,904
その他有価証券評価差額金	509,231	500,710	467,856
為替換算調整勘定	△1,578,900	△2,131,021	△1,934,284
自己株式	△842,205	△889,453	△2,270,958
資本合計	50,311,820	47,753,930	46,169,120
負債、少数株主持分及び資本合計	61,227,615	60,012,960	58,068,197

### 1 有形固定資産の増加

当中間期は、菊川工場の増設を含め20億円の設備投資を実施した結果、有形固定資産が増加しました。工作機械事業は合理化・省人化・環境対応に向けた最新鋭の菊川新工場棟の完成にあわせ、グループ一体となってさらなる生産効率の向上を目指します。

### 連結子会社の増加

当中間期より、上海星栄精機有限公司、スターマイクロニクス（タイランド）Co., LTD、(株)ミクロ岳美を連結対象に加え、また、従来連結子会社であった大連三得電子有限公司は斯大精密(大連)有限公司と合併しました。その結果、連結子会社数は海外14社、国内6社の計20社となり、前期に比べ2社増加しました。

## 連結損益計算書

単位：千円

科目	当中間期	前中間期	前 期
	2006年2月期中間	2005年2月期中間	2005年2月期
売上高	25,584,366	23,499,943	49,689,602
売上原価	15,202,506	14,766,816	30,741,974
売上総利益	10,381,859	8,733,127	18,947,627
販売費及び一般管理費	6,553,349	5,941,552	12,604,245
営業利益	3,828,510	2,791,574	6,343,382
営業外収益	201,029	153,807	289,261
受取利息	84,657	45,600	96,870
受取配当金	22,545	22,291	35,052
特許収入	64,576	49,410	90,600
雑収入	29,250	36,506	66,738
営業外費用	5,543	56,519	274,823
支払利息	4,092	7,487	26,880
為替差損	521	35,631	221,557
賃貸収入原価	—	9,254	18,491
雑損失	928	4,146	7,893
経常利益	4,023,996	2,888,863	6,357,820
特別利益	25,373	86,597	244,090
固定資産売却益	4,852	27,685	38,492
有価証券売却益	20,233	—	2,960
投資有価証券売却益	—	40,917	157,051
貸倒引当金戻入額	287	7,613	35,224
固定資産税還付額	—	10,381	—
その他	—	—	10,361
特別損失	235,563	393,237	947,255
固定資産処分損	133,794	149,015	514,555
転進支援金	—	229,305	406,377
減損損失	101,769	—	—
その他	—	14,915	26,321
税金等調整前中間(当期)純利益	3,813,805	2,582,224	5,654,655
法人税、住民税及び事業税	1,570,382	1,072,474	2,366,503
法人税等調整額	△50,075	△115,867	△485,557
少数株主利益又は少数株主損失(△)	39,184	634	△1,324
中間(当期)純利益	2,254,314	1,624,982	3,775,034

2

### 減損損失

当中間期から「固定資産の減損会計」を早期適用しております。減損会計とは、固定資産の収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった場合、その資産の価値を減額する会計処理で、これにより当中間期では101,769千円の減損損失が発生しました。

2

### 高水準の中間実績

当中間期は、利益率の高い工作機械事業の売上増加とコンポーネント事業の収益性改善などにより、中間期実績としては連結決算公表以降、過去最高の水準となりました。

連結剰余金計算書		単位：千円		
科目	当中間期	前中間期	前期	
	2006年2月期中間	2005年2月期中間	2005年2月期	
<b>資本剰余金の部</b>				
資本剰余金期首残高	13,876,949	13,876,517	13,876,517	
資本剰余金増加高	8,736	145	432	
自己株式処分差益	8,736	145	432	
資本剰余金中間期末(期末)残高	13,885,686	13,876,662	13,876,949	
<b>利益剰余金の部</b>				
利益剰余金期首残高	23,674,806	22,029,475	22,029,475	
利益剰余金増加高	2,404,458	1,626,407	3,776,458	
中間(当期)純利益	2,254,314	1,624,982	3,775,034	
連結子会社増加による剰余金増加高	150,143	1,424	1,424	
利益剰余金減少高	463,195	347,978	2,131,128	
配当金	426,195	319,962	693,112	
役員賞与金	37,000	25,000	25,000	
自己株式消却額	—	—	1,410,000	
合併による剰余金減少高	—	3,015	3,015	
利益剰余金中間期末(期末)残高	25,616,069	23,307,904	23,674,806	

連結キャッシュ・フロー計算書		単位：千円		
科目	当中間期	前中間期	前期	
	2006年2月期中間	2005年2月期中間	2005年2月期	
営業活動による キャッシュ・フロー	△30,970	2,871,754	6,891,142	
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,251,493	△1,368,835	△2,015,861	
財務活動による キャッシュ・フロー	△433,874	△689,782	△2,149,262	
現金及び現金同等物に 係る換算差額	87,358	154,748	55,587	
現金及び現金同等物 の増減額(減少：△)	△2,628,979	967,884	2,781,607	
現金及び現金同等物 の期首残高	13,539,134	10,718,363	10,718,363	
新規連結及び合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	120,857	39,164	39,164	
3 現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高	11,031,013	11,725,412	13,539,134	

3

## 現金及び現金同等物の減少

当中間期は、仕入債務の支払増加に加え、工場増設などにより設備支払も20億円を超えたことから、中間期末の現金及び現金同等物は前期末に比べ25億円減少しました。

# 単体財務諸表【要約】

貸借対照表		単位：千円		
科目	当中間期 2006年2月期中間	前期 2005年2月期	前中間期 2005年2月期中間	
<b>資産の部</b>				
流動資産	25,979,715	25,946,436	25,618,124	
現金及び預金	4,986,351	6,323,189	5,338,948	
受取手形	1,435,241	1,321,486	1,202,026	
売掛金	10,163,910	8,930,614	9,637,533	
有価証券	20,900	120,890	110,030	
たな卸資産	5,454,609	5,240,250	5,552,894	
その他の流動資産	3,918,702	4,010,004	3,776,691	
固定資産	26,000,718	24,994,616	25,882,197	
有形固定資産	9,469,079	8,690,259	9,123,330	
無形固定資産	281,792	213,122	256,656	
投資その他の資産	16,249,847	16,091,233	16,502,210	
資産合計	51,980,434	50,941,052	51,500,321	
<b>負債の部</b>				
流動負債	7,818,228	8,136,041	8,306,041	
買掛金	5,199,167	5,466,548	6,195,587	
その他の流動負債	2,619,061	2,669,493	2,110,453	
固定負債	384,636	311,277	1,197,361	
長期借入金	—	—	1,000,000	
役員退職引当金	231,866	212,317	197,361	
繰延税金負債	152,769	98,960	—	
負債合計	8,202,865	8,447,319	9,503,402	
<b>資本の部</b>				
資本金	12,721,939	12,721,939	12,721,939	
資本剰余金	13,885,686	13,876,949	13,876,662	
利益剰余金	17,502,917	16,283,586	17,201,419	
その他有価証券評価差額金	509,231	500,710	467,856	
自己株式	△842,205	△889,453	△2,270,958	
資本合計	43,777,569	42,493,732	41,996,919	
負債資本合計	51,980,434	50,941,052	51,500,321	

損益計算書		単位：千円		
科目	当中間期 2006年2月期中間	前中間期 2005年2月期中間	前期 2005年2月期	
売上高	20,440,803	19,297,450	39,208,579	
売上原価	14,123,692	13,808,869	27,979,224	
売上総利益	6,317,110	5,488,580	11,229,355	
販売費及び一般管理費	3,986,829	3,739,725	7,690,956	
営業利益	2,330,281	1,748,855	3,538,399	
営業外収益	628,454	272,582	431,461	
営業外費用	56,052	82,696	255,016	
経常利益	2,902,682	1,938,740	3,714,844	
特別利益	22,982	76,233	204,984	
特別損失	223,326	405,455	818,306	
税引前中間（当期）純利益	2,702,338	1,609,519	3,101,522	
法人税、住民税及び事業税	940,940	586,450	1,344,000	
法人税等調整額	78,871	2,414	△128,449	
中間（当期）純利益	1,682,526	1,020,655	1,885,971	
前期繰越利益	4,462,006	4,819,283	4,819,283	
中間配当額	—	—	373,149	
自己株式消却額	—	—	1,410,000	
中間（当期）未処分利益	6,144,532	5,839,938	4,922,105	



# 株式の状況 (2005年8月31日現在)

## 株式状況

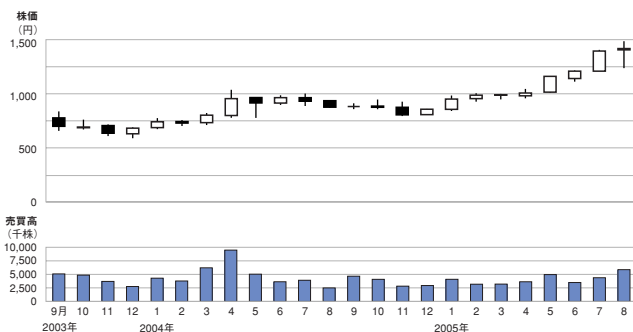
発行する株式の総数	158,000,000株
発行済株式の総数	54,533,234株
株主数	5,425名
1人平均持株数	10,052株
当期中の名義書換件数	190件
当期中の名義書換株式数	1,604,582株

## 大株主 (上位10名)

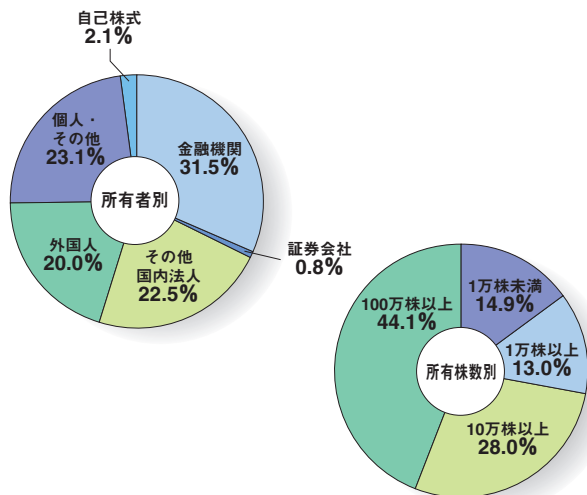
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
シチズン時計(株)	8,658	16.5
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	4,765	9.1
ゴールドマン サックス インターナショナル	1,709	3.3
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	1,701	3.2
(株)静岡銀行	1,582	3.0
(株)みずほ銀行	1,348	2.6
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口)	1,113	2.1
メロン バンク エヌイー アズ エージェント フォー	1,030	2.0
イツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	1,005	1.9
リズム時計工業(株)	1,005	1.9
モルガン スタンレー アンド カンパニー インク	919	1.8

※当社は、自己株式1,168千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いており、議決権比率の算定にも含まれておりません。

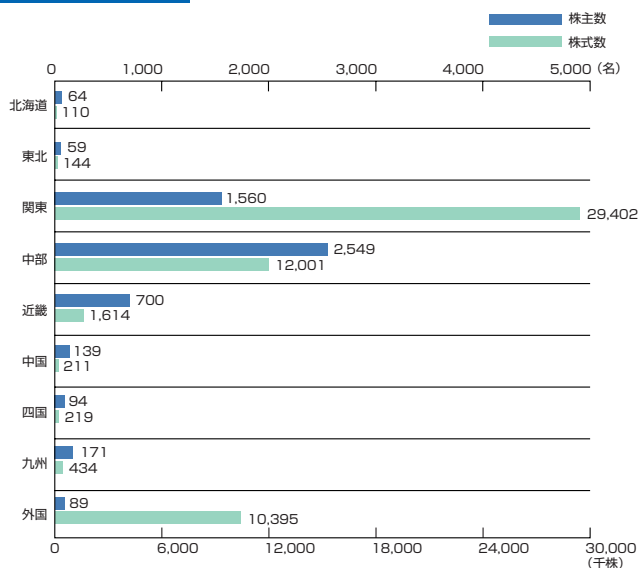
## 株価および株式売買高の推移 (東京証券取引所)



## 所有者別・所有株数別分布状況



## 地域別分布状況



## 株式についてのご案内

決算期	2月末日
定時株主総会	5月
配当金	利益配当金受領株主確定日 2月末日 中間配当金受領株主確定日 8月31日
基準日	毎年2月末日現在の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載または記録された株主をもって、その期に関する定時株主総会において権利を行使すべき株主とみなします。
名義書換代理人 事務取扱場所 [お問い合わせ先] 同取次所	東京証券代行株式会社 本店 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番2号（東銀ビル3階） ☎ 0120-49-7009 ☎ 03-3212-4611（代表） 東京証券代行株式会社 本店・営業所 中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店（※）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
公告掲載新聞	日本経済新聞 *決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに掲載しております。 <a href="http://www.star-m.jp/ir/">http://www.star-m.jp/ir/</a>
1単元の株式数	1,000株
単元未満株式買取請求 および買増請求	単元未満株式の買取請求および買増請求は、上記名義書換代理人において受付けております。なお、買増請求につきましては2月末日および8月31日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間お取り扱いを停止いたします。その他、会社が定める一定期間買増請求のお取り扱いを停止する場合がございます。
株券喪失登録	株券を紛失された方は、上記名義書換代理人において株券喪失登録の手続きを行うことができます。株券喪失登録を行いますと、株券喪失登録簿に喪失株券の記号番号等が登録されて閲覧に供され、1年間登録異議もしくは喪失登録の抹消がなければ、当該株券は失効し、新しい株券の交付を受けることができます。株券喪失登録に要する費用は、10,000円に加えて喪失登録株券1枚につき500円です。

### 諸届用紙のご請求

住所変更・改印等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式（端株）買取請求書および株式名義書換請求書等の諸届出に使用いたします用紙のご請求につきましては次の方法もご利用になれます（24時間、土・日祝祭日もお受けいたします）。

●電話を利用した自動音声応答による受付

☎ 0120-16-5805

●インターネットによる用紙のご請求

東京証券代行株式会社のホームページにおいて、用紙の印刷およびインターネットメールによる用紙のご請求がご利用になれます。

<http://www.tosyodai.co.jp>

「株式に関する用紙のご請求」、「株式に関する手続きのご案内」、「株式に関する手続きのQ & A」をご参照ください。

(※) みずほインベスターズ証券株式会社本店および全国各支店でお取次につきましては、2005年11月30日をもって終了いたしますので、ご注意くださいようお願い申し上げます。

## スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10

TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057

<http://www.star-m.jp>

**R100**  
古紙配合率100%再生紙

PRINTED WITH  
**SOY INK**  
環境に配慮した「大豆油インキ」  
を使用しています。